

## —— 将来像 ——

# 柳川の北玄関として「蒲池城・掘割・田ん中」 を生かす蒲池のまちづくり

### —— 地域の概況 ——

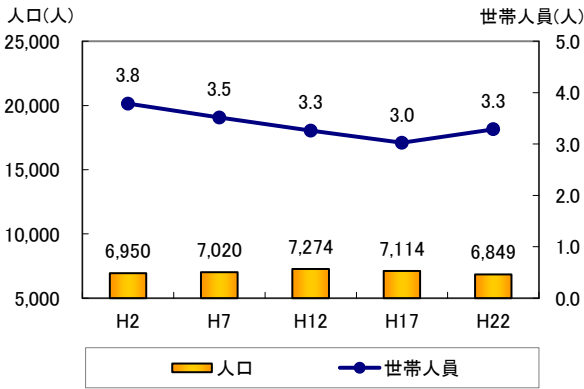


- 地域づくりのポイント：**
- 広域幹線道路網の整備
  - 歴史ある史跡の保全
  - 中世以前から残る掘割と集落の形の保全

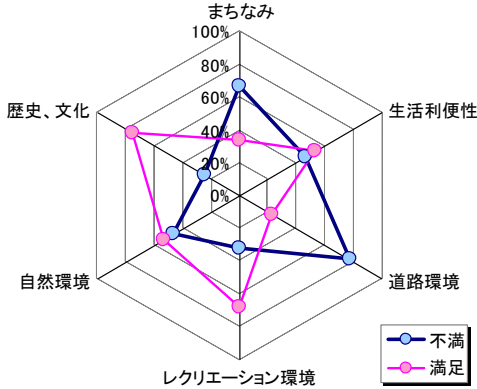
**地域の特徴：**  
本市の北部に位置し、北は大川市と大木町に面しています。蒲池城跡などの史跡や中世以前からの掘割と集落の形が残っている地域です。

**市民意向調査結果：**  
本地域では「歴史、文化」や「レクリエーション環境」に対する満足度が高い反面、「まちなみ」や「道路環境」への不満度が高く、特に道路の街灯や標識の不足などに不満が多くみられます。

**人口動向：**  
市全体と同様に人口は減少していますが、減少率は最も緩やかで、児童数の減少も緩やかな地域です。



▲人口の推移



▲蒲池地域の満足度

## 地域の現況と課題

### ①土地利用

- ・農業を生かした地域の活性化が求められています。
- ・国道 385 号バイパスの沿道の土地利用について無秩序な開発が行われる恐れがある一方で、企業誘致などによる働く場の確保が求められています。

### ②交通体系

- ・市街地外環状道路の高橋中牟田線の整備が進められています。
- ・福岡市などの都市圏と本市をつなぐ国道 385 号バイパスの開通など広域幹線道路の整備が進んでいます。
- ・西鉄蒲池駅は、駅前広場や駐車場の整備など利便性を向上させる取り組みが求められています。
- ・久留米柳川線など通学路や拠点内の道路は、歩行者や自転車など多様な利用者の整備による安全性の確保が望まれています。
- ・路線バスが運行されていないため、自らの移動手段を持たない住民の移動が不便でしたが、コミュニティバスの運行により改善がみられます。

### ③都市施設（供給処理施設など）

- ・家庭から流れ出る未処理の生活雑排水や事業所排水の流入が、河川や掘割の水質汚濁の一因となっています。

### ④自然環境

- ・藩境に用いられた榎の復元が求められています。
- ・生活拠点に公園の配置が求められています。
- ・中世以前からの掘割や集落の形を今に伝える田園景観には、竹藪や柳などの樹木が残されています。
- ・水辺に安全に親しめる環境が望まれています。
- ・田園を通る広域幹線道路については、緑地帯の確保など緑化が求められています。

### ⑤景観

- ・「柳川市景観計画（平成 24 年 3 月策定）」に基づく景観の取り組みを進めています。



蒲池城跡の碑



メダケの藪

## —— 地域の将来像 ——

### 「柳川の北玄関として「蒲池城・掘割・田ん中」を生かす蒲池のまちづくり」

蒲池地域は、歴史ある史跡や中世以前からの掘割と集落の形が残る地域です。昔ながらの風景を残しながら、新しい住宅地やにぎわいを作るために、掘割や田園を生かした歴史とにぎわいの調和したまちづくりを進めます。

## —— 地域の都市づくりの方針 ——

### ①土地利用

- ・ 国道 385 号バイパスなどの沿道地域は、優良農地を守るため沿道商業施設の延長的な立地や農地転用を抑制し、計画的な土地利用を推進します。情勢の変化に合わせて他の土地利用の配置が必要な場合は、周辺の営農環境などへの影響が小さくなるよう最大限配慮するものとします。
- ・ 農地は、営農環境を維持するために農地転用を抑制するなど、計画的な土地利用を推進します。情勢の変化に合わせて他の土地利用の配置が必要な場合は、周辺の営農環境などへの影響が小さくなるよう最大限配慮するものとします。

### ②交通体系

- ・ 高橋中牟田線は、市街地外環状道路として整備を推進します。
- ・ 西鉄蒲池駅周辺は、駐車場や駐輪場、駅前広場の整備など結節機能の強化を検討します。
- ・ 久留米柳川線など通学路や拠点内の道路は、優先的に歩行者や自転車など多様な利用者が安全・安心して共存できる環境の整備を進めます。
- ・ 自らの移動手段を持たない住民の日常生活を維持する公共交通などの維持を図ります。

### ③都市施設（供給処理施設など）

- ・ 合併処理浄化槽の設置を促進し、河川や掘割の水質保全に努めます。

### ④自然環境

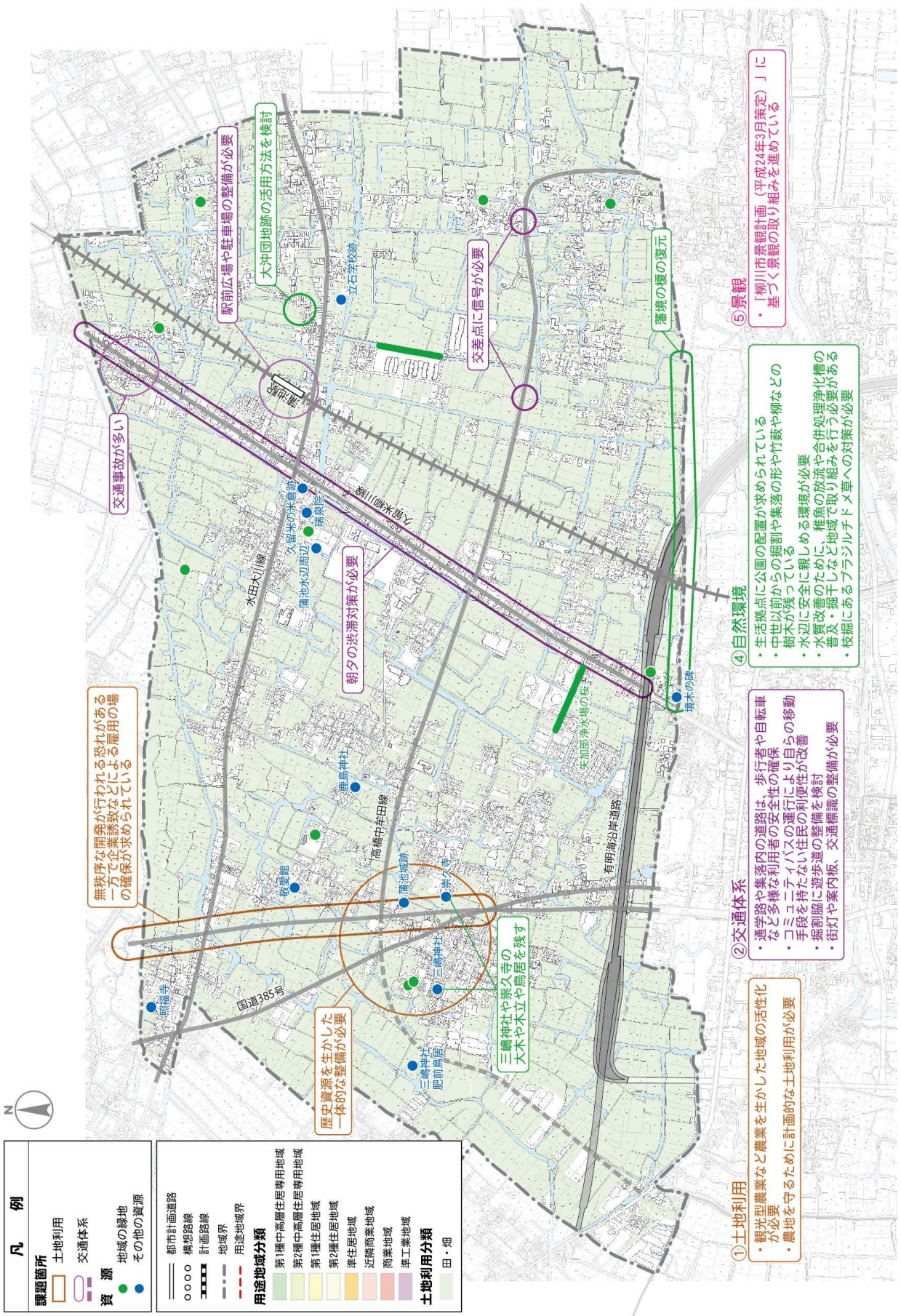
- ・ 藩境に用いられた榎を復元し、そこに刻まれた歴史の跡を豊かな緑とともにつなぎ守ります。
- ・ 三嶋神社や崇久寺の大木や立石団地の桜並木などポイントとなる緑地を保全します。
- ・ 地域住民の意見を取り入れた駅前空間や公園の整備を検討します。
- ・ 地域の自然環境を、市民と行政が協働して守り育てる活動を推進します。

### ⑤景観

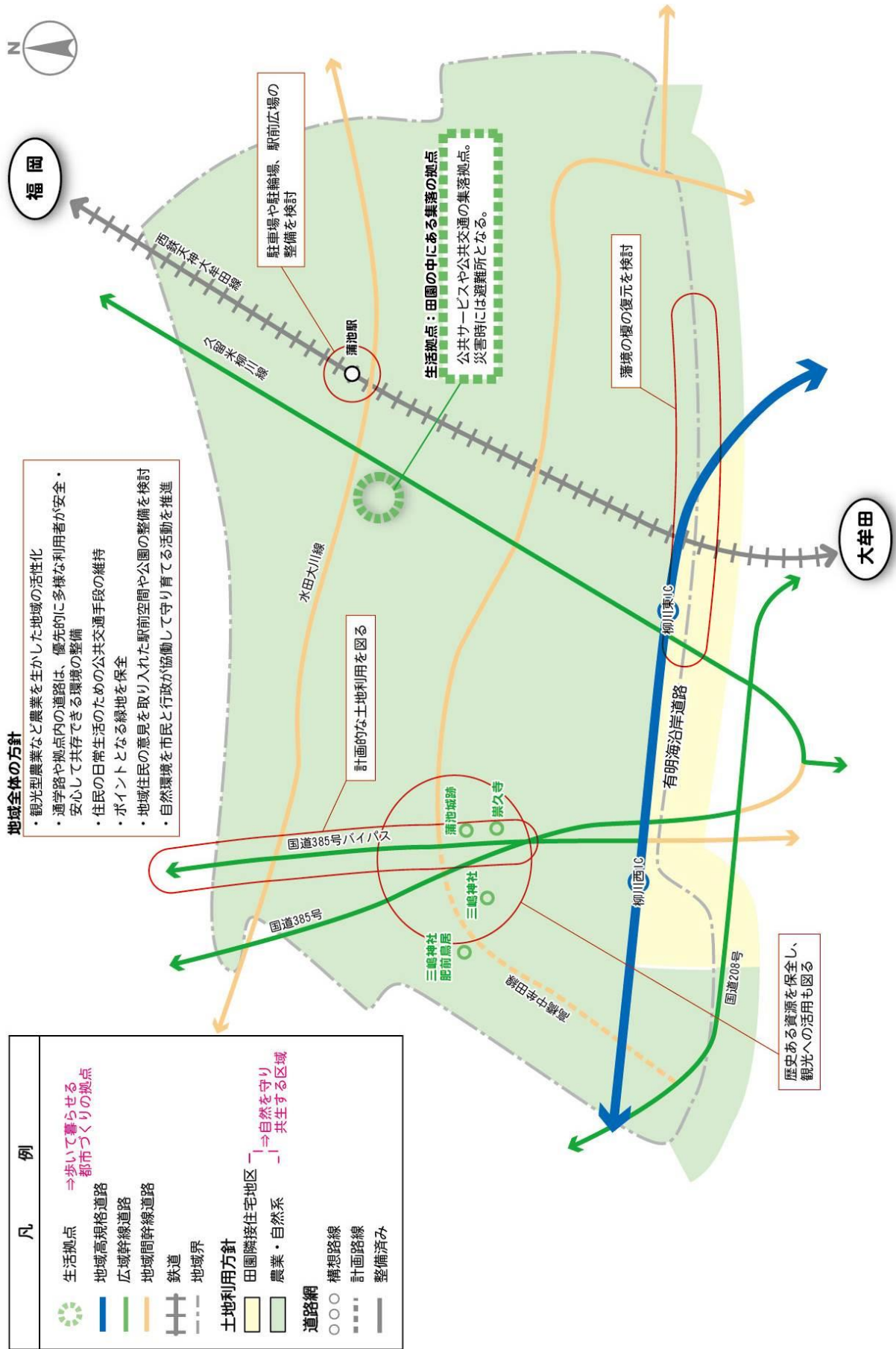
- ・ 「柳川市景観計画（平成 24 年 3 月策定）」に基づき、当地域は同計画における田園エリアの景観形成方針および基準に沿った景観づくりを推進します。

※平成 18 年度に行った市民ワークショップ（景観まちづくり座談会）の意見などを基に作成しています。

# 地域の現況と課題図（資源と問題点）



20年後（2029年）の蒲池地域の都市づくり方針図





## 将来像

ろっきゅう  
白秋・六騎・干拓のまちは よかばんも

## 地域の概況



### 地域づくりのポイント：

- おもてなしの心が伝わる観光拠点
- きめ細やかなまちなみ整備

### 地域の特徴：

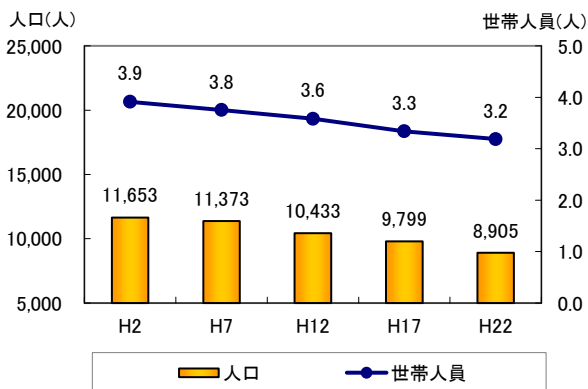
本市の南西部に位置し、南西は有明海に面しており、堤防跡や田園が広がっています。北部には観光拠点である沖端地区があり、掘割景観や漁師町の風情がみられます。

### 市民意向調査結果：

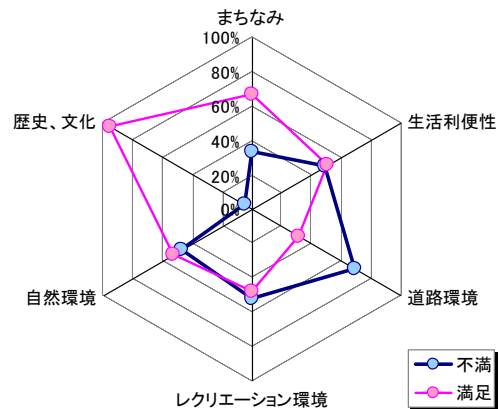
本地域では「歴史、文化」や「まちなみ」に対する満足度が高い反面、「道路環境」への不満度が高く、狭い路地の防災面の不安などが多くみられます。

### 人口動向：

市全体と同様に人口は減少しており、減少率も高く、また児童数の減少率も高くなっている地域です。



▲人口の推移



▲柳南地域の満足度

## 地域の現況と課題

### ①土地利用

- ・地域の北部は、柳川市景観計画景観重要地区に指定されています。
- ・沖端地区の一部は、柳川市観光地区建築条例により特別用途地区となっています。
- ・地域南部に広がる農地保全ゾーンにおいて大牟田川副線バイパスの整備により優良農地が失われる恐れがある一方で、企業誘致などによる働く場の確保が求められています。
- ・地域北部は、漁村の風情が残る地域ながら、住宅が密集し、道路が狭いため防災面に不安があります。

### ②交通体系

- ・沖端周辺の道路の整備は、生活環境や景観への配慮が求められています。
- ・多くの観光客が訪れる沖端地区は、車の路上駐車や交通量が多く、歩行者が安全にゆったりと楽しめない状況にあります。
- ・街灯や案内板、舗装材などに統一感が不足しています。
- ・路線バスが運行していない場所は、自らの移動手段を持たない住民にとって移動が不便でしたが、コミュニティバスの運行により改善がみられます。



沖端の船着場

### ③都市施設（供給処理施設など）

- ・下水道は、地域の一部が計画区域になっており、早急な整備が求められています。その他の区域においても未処理の生活雑排水や事業所排水の流入が、河川や掘割の水質汚濁の一因となっています。
- ・多くの観光客が訪れる沖端地区でも、昼間に汲み取り作業やごみ収集が行われています。

### ④自然環境

- ・観光の要である川下りコースとなっている掘割について水質の向上と水量の確保が必要です。
- ・有明海や自然を体験・学習できるむつごろうランドがあります。
- ・海岸沿いは、木陰など暑さをしのぐ場所がありません。
- ・観光拠点周辺にゆっくり休めるスペースが不足しています。

### ⑤景観

- ・「柳川市景観計画（平成24年3月策定）」に基づく景観の取り組みを進めています。



干潟に沈む夕日



## —— 地域の将来像 ——

### 「白秋・六騎・干拓のまちは

#### よかばんも」

柳南地域は、漁師町の風景が残るまちなみが魅力です。水天宮周辺など多くの観光客が訪れる地域は、おもてなしの心の伝わる取り組みが必要です。田園と観光、商業の結びつき、人々を引きつける美しい景観のまちづくりを進めます。

## —— 地域の都市づくりの方針 ——

### ①土地利用

- ・漁港や掘割などの歴史文化資源を生かすため事業者や地域と協働して個性を生かした良好な景観形成の実現について検討します。
- ・観光拠点では、地域内外の人が交流する商業空間づくりを推進します。
- ・地域南部の農地保全ゾーンについては、優良農地を保全するため、計画的な土地利用を図ります。情勢の変化に合わせて他の土地利用の配置が必要な場合は、周辺の営農環境などへの影響が小さくなるよう最大限配慮するものとします。
- ・筑紫町地区は、住環境に配慮しながら工業施設の誘導を図り雇用の創出や地域振興に取り組みます。
- ・漁村の風情が残るものの狭い路地が残る沖端地区は、景観に配慮しながら防災上必要な空地の確保やソフト面の対応により防災性および居住環境の向上を図ります。

### ②交通体系

- ・大牟田川副線バイパスは、有明海沿岸を結ぶ利便性の高い広域幹線道路として整備を促進します。
- ・観光拠点は、街灯や案内板、舗装材などまちなみの歴史的背景や時代意匠を考えたいきめ細やかなまちなみ整備を図ります。

- ・観光拠点を含む観光スポットと広域拠点をシャトルバスなどでつなぎ、観光の面的な広がりや観光客の利便性を確保します。
- ・パークアンドライドの取り組みや多様な利用者が安全・安心して共存できる環境の整備などを検討し、おもてなしの心の伝わる交通体系へ転換します。
- ・利用しやすく、分かりやすい駐車場の整備など計画的に行います。
- ・自らの移動手段を持たない住民の日常生活を維持するため広域拠点と生活拠点をつなぐ公共交通などの維持を図ります。

### ③都市供給（供給処理施設など）

- ・下水道計画区域は、整備推進と普及率向上を図り、それ以外の地区は、合併処理浄化槽の設置を促進し、河川や掘割の水質保全に努めます。
- ・観光拠点として相応しいごみ収集の時間や場所などを検討します。

### ④自然環境

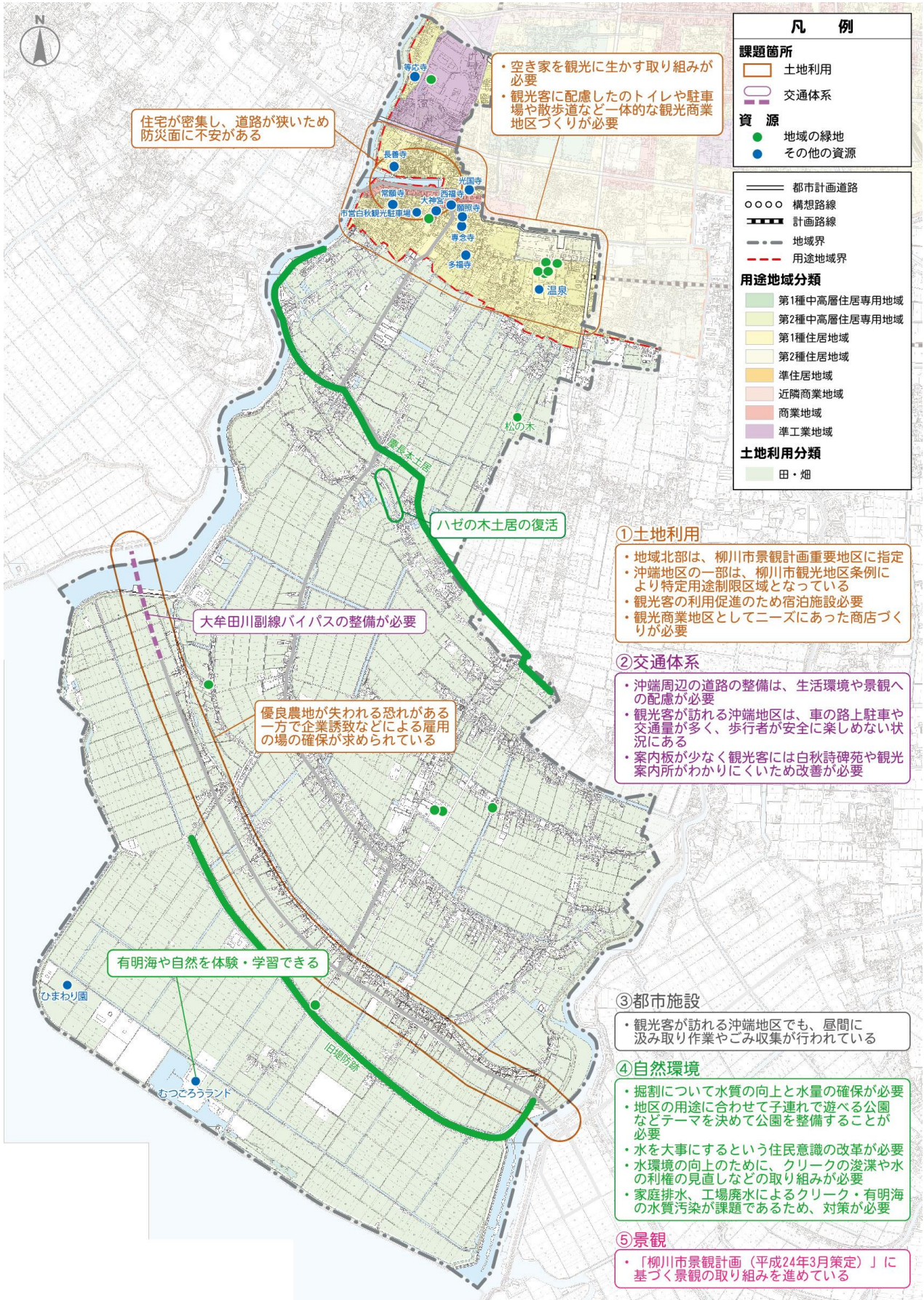
- ・掘割や有明海の水質の改善に取り組みます。
- ・有明海を自然を体験・学習できる交流の場の確保のためむつごろうランドを拠点とした海辺を親しむ空間の整備を推進します。
- ・観光拠点周辺の公園は、人々がにぎわい憩う交流の場としてゆったりと過ごせる空間づくりを推進します。
- ・地域の自然環境を市民と行政が協働して守り育てる活動を推進します。

### ⑤景観

- ・「柳川市景観計画（平成24年3月策定）」に基づき、当地域北部は同計画における中心市街地エリア（城堀周辺地区・旧城下町地区）また、南部は、田園エリアおよび有明海・干拓地エリアの景観形成方針および基準に沿った景観づくりを推進します。

# 地域の現況と課題図（資源と問題点）

※平成18年度に行った市民ワークショップ(景観まちづくり座談会)の意見などを基に作成しています。



## 20年後（2029年）の柳南地域の都市づくり方針図



